**Panasonic**

デジタルカメラ
品番 DMC-FT3

VQC8255

買ったらすぐに使いたい！
かんたん操作ガイド

# GPS を使って撮影する

## GPS 情報を取得する

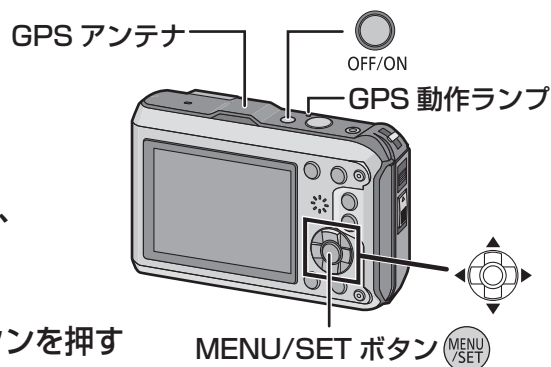
**1** 電源ボタンを押す

**2** [MENU/SET] ボタンを押す

**3** ▲/▼/◀/▶ で GPS/ センサーメニューを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

**4** ▲/▼ で [GPS 設定 ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

**5** ▲/▼ で [ON] または [GPS] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

GPS アンテナ
OFF/ON
GPS 動作ランプ
MENU/SET ボタン

| | |
|---|---|
| [ON] | • GPS を起動し、電波を受信状態にします。<br>• [ON] に設定しておくと電源を切った状態でも継続して測位します。 |
| [GPS] | • 電源を入れている間のみ、測位します。<br>• 電源が切れている間は測位しません。 |
| [ 情報 ] | • GPS 情報の確認や更新ができます。 |

## GPS 情報を更新する

表示されている地名情報と現在位置が異なっていたり、測位が成功しにくい場合は、GPS 衛星の電波を受信しやすい屋外の空のひらけた場所に移動して測位更新を行ってください。

### 上記手順 4 で [ 測位更新 ] を選び、[MENU/SET] を押す

● 測位が開始され、成功すると現在位置の最新情報に更新されます。

地名情報

### お知らせ

- GPS アンテナを上空に向け、カメラをしばらく静止した状態で使用することをおすすめします。
- 場所によっては、測位成功までに時間がかかる場合があります。
- 場所によっては大きな誤差が発生する場合があります。
- 天面の GPS アンテナを手などで覆わないでください。
- 測位中に本機を持ち運ぶときは、金属製のかばんなどに入れないでください。金属などで覆われると測位できません。
- [測位更新]を実行しなくても、電源を入れた直後、および一定の時間間隔で自動で測位を試みます。（[GPS設定]が[OFF]以外の場合）
- [GPS設定]を[ON]に設定しておくと、電源を切った状態でも一定の時間間隔で測位を試みます。
- 測位中はGPS動作ランプが点灯します。また電源を切った状態でGPS動作ランプが点灯するときは[GPS設定]が[ON]になっています。



### GPS とは？

グローバル・ポジショニング・システム（Global Positioning System）の略で、GPS 衛星を利用して自分の位置を確認することができるシステムです。
複数の GPS 衛星から軌道情報と時刻情報を含む電波を受信して現在位置を計算することを「測位」といいます。

**GPS を使って撮影すると、以下のことが撮影された画像に記録されます。**

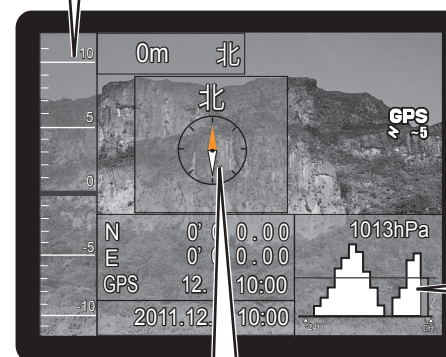
緯度 / 経度
地名情報（国 / 地域、県 / 州、市区 / 郡、町 / 村、ランドマーク）

## 方位、高度、気圧を計測する

方位計、高度計、気圧計を表示する場合は、[GPS 設定 ] を [ON] または [GPS] に設定してください。

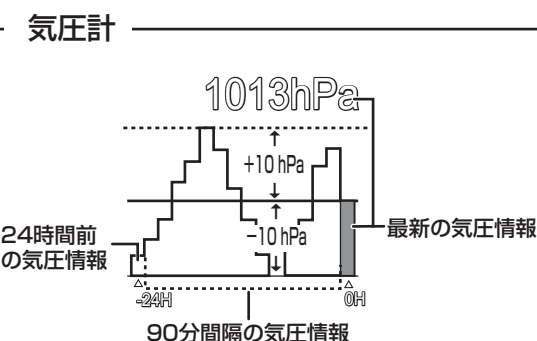
- **本機で計測される情報はあくまでも目安です。専門的な用途でご使用にならないでください。**
- **本機を登山やトレッキングなどでご使用の際は計測される情報（方位、高度、気圧）を目安としてお使いのうえ、必ず地図や専用の計測器を携帯するようにしてください。**

**高度計**

現在地の高度を確認することができます。

**方位計**

本機のレンズが向いている方向を基準に 8 方位を計測します。
● 方位計の針の赤色の付いた部分が指す方向が北になります。

**気圧計**

1013hPa
+10 hPa
−10 hPa
24時間前の気圧情報
最新の気圧情報
-24H
0H
90分間隔の気圧情報

最新の気圧情報を基準にして－10 hPa ～＋10 hPa の範囲内でグラフ表示します。
（範囲外の気圧は詳細に表示できません）
● 気圧は大気の動きに伴って変化します。
• 気圧が高くなりつつあるとき：天気は回復傾向
• 気圧が低くなりつつあるとき：天気は下り坂傾向

### 方位計について

- 付近に強い磁気を発するものがあると、正確に計測できない場合があります。
- 本機を逆さまにして計測すると、正確に計測できない場合があります。

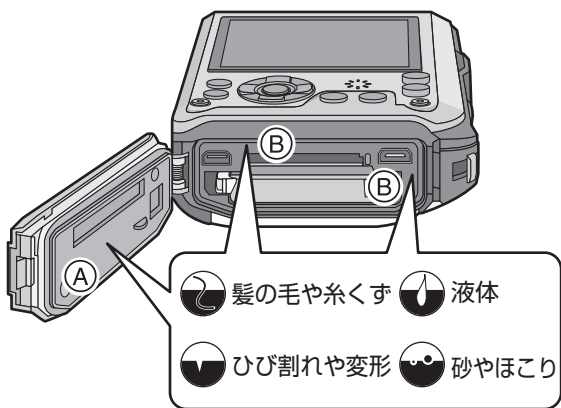
### 高度計、気圧計について

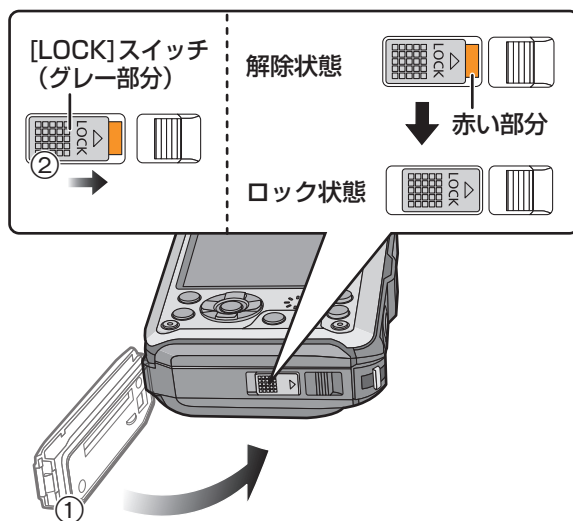
- 以下の場合、高度や気圧が正しく計測されないことがあります。
  - 気象条件の大きな変化 / 急な高度差が生じる移動 / 本機が濡れた状態（水中で使用後など）/ 本機の正面や背面に圧力がかかったとき / 側面扉を閉じた直後
- 本機を一定の高さに固定していても、気圧変化の影響により、計測された高度が変動する場合があります。

# 本機のお手入れと防水性能について

本機には防水性能があります。次の事項に気をつけてお使いください。
詳しくは、取扱説明書をお読みください。

## 側面扉の内側に異物が付着していないか確認する

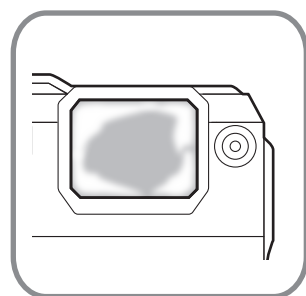
- ゴムパッキンⓐやゴムパッキンのあたるところⓑに異物が付着している場合は、付属のブラシで取り除いてください。また液体が付着している場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

- ひび割れや変形がある場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口にご相談ください。

- 異物がないことを確認したあと、側面扉①をカチッと音がするまで閉じ、[LOCK] スイッチ②を矢印方向にスライドさせ、赤い部分が見えなくなるまでロックしてください。

## 使用後のお手入れ

- 水中でのご使用後は、浅い容器にためた真水の中で10分程度つけ置きしたあと、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

・本機を落下させないでください。
防水性能が損なわれる恐れがありますので、お気をつけください。

## レンズの内側がくもるとき（結露）

- 本機の故障や不具合ではありません。
使用環境により発生する場合があります。

- レンズの内側がくもった場合の対処方法

電源を切り、高温・多湿、砂やほこりの多いところを避け、周囲の温度が一定の場所で側面扉を開けてください。
側面扉を開けた状態で約10分～2時間そのままにしておくと周囲の温度になじみ、くもりが自然にとれます。
・くもりが取れない場合は、お買い上げの販売店か、お近くの修理ご相談窓口にご相談ください。



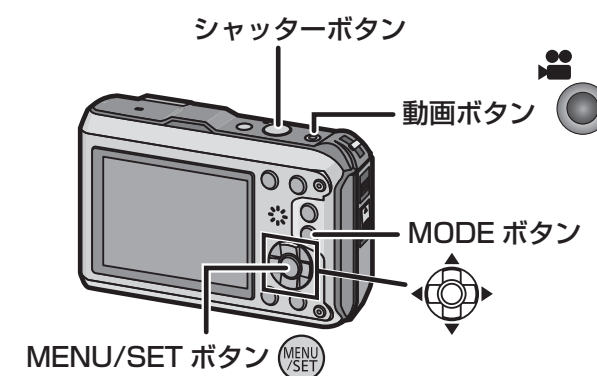
# おまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

被写体や撮影状況に合わせてシーンを自動で判別し、最適な設定を行います。

iA →

| 写真撮影時 | | |
|---|---|---|
| i 人物 | i 風景 | i マクロ |
| i 夜景＆人物 | [i⚡A] 選択時のみ | |
| i 夜景 | i 夕焼け | i 赤ちゃん |

iA →

| 動画撮影時 | |
|---|---|
| i 人物 | i 風景 |
| i ローライト | i マクロ |

**1** [MODE] ボタンを押す

**2** ▲/▼/◀/▶ で [インテリジェントオート] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

### 写真を撮る場合

**3** シャッターボタンを半押し（軽く押す）して、ピントを合わせる
- ピントが合うとフォーカス表示が緑点灯します。
- ピントが合わないときは、緑点滅します。

フォーカス表示

**4** シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

### 動画を撮る場合

**3** 動画ボタンを押して撮影を開始する
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

**4** もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する
- 記録途中で内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになると、自動的に撮影が終了します。

# 見る（再生）

**1** [▶] (再生) ボタンを押す

**2** ◀/▶ で画像を選ぶ
- 動画を再生するには手順**2**のあと、▲ を押してください。
- [▶] 長押しで電源を入れると自動的に通常再生されます。

### 不要な画像を消去する

**1** 不要な画像を表示中に [🗑/↩] ボタンを押す

**2** ◀ で [はい] を選ぶ

**3** [MENU/SET] ボタンを押して決定する
- 画像は一度消去すると元に戻すことができませんので、お気をつけください。